

別記第2号様式

# 宣誓書

私は、飲食・宿泊・サービス業等支援金（第Ⅳ期）の給付申請に当たり、下記の内容について、宣誓します。

宣誓した内容と事実が相違することが判明した場合には、飲食・宿泊・サービス業等支援金（第Ⅳ期）の給付を受けられないことになっても異議はありません。また、これにより生じた損害については、当方が一切の責任を負うものとし、給付された支援金を全額返金するとともに、加算金をお支払いいたします。

## 記

- (1) 飲食・宿泊・サービス業等支援金（第Ⅳ期）の給付申請書及び添付書類の内容に虚偽はありません。
- (2) 飲食・宿泊・サービス業等支援金（第Ⅳ期）給付規程第3の給付対象者の要件を満たしています。
- (3) 飲食・宿泊・サービス業等支援金（第Ⅳ期）給付規程第5の不給付要件に該当しません。
- (4) 支援金の給付を受けた後、知事が虚偽や不正の申請であると認定した場合は、飲食・宿泊・サービス業等支援金（第Ⅳ期）給付規程第14による支援金の返還や必要な加算金の支払に応じます。
- (5) 飲食・宿泊・サービス業等支援金（第Ⅳ期）給付規程第16の規定による立入検査等を受けた場合は、適正かつ誠実に対応します。
- (6) 申請内容に不正があったなど必要がある場合は、飲食・宿泊・サービス業等支援金（第Ⅳ期）給付規程第17の規定により氏名・名称などの情報が公表されることに同意します。
- (7) (1)から(6)までの他、飲食・宿泊・サービス業等支援金（第Ⅳ期）給付規程に従います。
- (8) 和歌山県で推奨している感染拡大予防ガイドラインを遵守するとともに、感染拡大防止のため、県の要請に従っています。
- (9) 審査の必要に応じ、申請者の申請状況について関係機関に情報提供することに同意します。
- (10) 時短協力金をはじめとした、本申請要領の記載している事項については、内容を全て理解し、申請します。

以上

和歌山県知事 様

令和 年 月 日

法人名又は屋号

役職名及び代表者名

(個人事業主の場合は氏名)

印

※法人の場合は代表者の署名、個人事業主の場合は自署により押印を省略することができます。